

事業番号	6	事業名等	観光イベント補助金・負担金
仕分け結果	市が実施(要改善)		担当課 観光振興課

評価(判定)	人数(人)	市民評価委員の主な評価(判定)理由等
廃止	0	
民間が実施	2	
国・県・広域行政が実施	0	
市が実施(要改善)	19	<ul style="list-style-type: none"> ・合併から日が経っている。必要性が少ないものは削っても良いのでは。 ・市民の創意工夫により利益を上げることが必要。 ・民間の人々に協力していただき、実施してもらいたい。 ・観光客が増えるのは良いが、補助金を多く出すより、市民で負担するべき。
市が実施(現行どおり)	5	<ul style="list-style-type: none"> ・市を活性化させる代表的な観光イベントを縮小するべきではない。 ・知名度の高いイベントは残し充実させるべきなので、数は少なくするべき。 ・祭りは日本古来の伝統芸能である。 ・地域活性のために、今後も自信と誇りを持って取り組んでほしい。
市が実施(拡大・充実)	1	

市民評価委員の評価(判定)理由が、類似した内容のものについては重複掲載していません。
 評価(判定)項目と理由の内容が合致しない場合も掲載していません。
 また、市民評価委員全員が、評価(判定)理由を付しているとは限りません。

仕分け人の講評
<p>祭りは、地元あるいは地域の人達が主体となるのが本来の姿であり、地元・地域が盛り上がりがない限り、観光にもつながらない。お金でもって祭りが盛り上がるのは本末転倒である。多くの観光客が来るのは地元が楽しいからであり、このことが波及効果として行ってみようということになる。お金がないならできないという祭りはやめるべきである。元々は、行政がお金を出して祭りをやっていたわけではない。お金が出ると、それを前提にものごとを考えるものである。ただ、観光イベントは少し違って、行政と一体となってやることは考えられる。将来どういった方向で見直していくか議論していただきたい。その方がもっと祭りがおもしろくなるはずである。</p>